書道Ⅰ

学期	月	単元名	学習内容・活動	到達目標	評価規準				自己評価
					書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力	
前期	4	◎芸術科書道 1「書写から書道へ」 「姿勢と執筆法」 2「用具・用材」 （文房四宝）	1，オリエンテーション ビデオ学習 2，ビデオ学習 ワークシート 体験学習	国語科書写と芸術科書道の違いや関連を知り、古典の臨書や鑑賞によって、書体や書風、構成などの違いを知ることができるようにする文房四宝を知り用具･用材による表現の違いを知る。	書写から書道への興味･関心を持ち、それらを意識した活動をしようとする。	書道における基本的用具･用材等の扱いを認識した活用をしようとする。	書道における用具用材との関連を生かし自分なりに課題を見つけ整理することができる。	書道における文房四宝を理解し、書の美を体感しようとする。	A ・ B ・ C
	5	◎　漢字の書 1　「楷書の古典」 2　「行書の古典」	1，九成宮醴泉銘と孔子廟堂碑 2，蘭亭叙と風信帖	楷書や行書の書を通して、漢字の書の良さや美しさを感じ取り、基礎的な技能を身につけ書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統などを理解する。	漢字の書を通して、書の美しさに関心を持ち、意欲的･主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて漢字仮名交じりの書の良さや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫する。	漢字の書を通して、表現する能力を伸ばし、基礎的な技能を身につけている。	書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統などを理解し、表現と鑑賞の関連を図りながら、その良さや美しさを深く味わう。	A ・ B ・ C
	6	◎　仮名の書 【国語科との連携授業１】 1　「仮名の書A」 2　鑑賞学習A	1，仮名の成立 基本的な用筆法 2，秋萩帖（古典） 3，平仮名（古典） 1，函館美術館（学芸員） による連携授業	仮名の書を通して、仮名の美について関心を深め、用具･用材の違いや特性を生かした表現効果を理解できる。	･仮名の成立、仮名の種類、仮名の美について関心を深められたか。 ･仮名の用具･用材について関心を深められたか。	･仮名の成立過程において、それぞれの仮名の美を感受できたか。 ･仮名の用具･用材の違いにより表現も違うという工夫ができたか。	･仮名の成立において、それぞれの表現の技能を理解できたか。 ･仮名の用具･用材の特性を生かした表現効果を理解できたか。	･仮名の成立において、それぞれの仮名の美を味わうことができたか。 ･仮名の用具･用材の書文化としての幅広さを理解し、その美しさを味わうことができたか。	A ・ B ・ C
	7・8	◎　漢字仮名交じりの書 1　漢字仮名交じりの書A	1･楷書を生かした調和 ･行書を生かした調和 ･平仮名を生かした調和	漢字仮名交じりの書を通して、書の良さや美しさを感じ取り、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を表現と鑑賞の関連を図りながら味わう。	漢字仮名交じりの書を通して、生活に即した書表現に関心をもち、意欲的、主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて漢字の書の良さや美しさを感じ取り、普遍性に裏打ちされた創造的な表現を工夫する。	書写能力を高め、用具･用材を生かし、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身につけている。	書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統などを理解し、表現と鑑賞の関連を図りながら、その良さや美しさを深く味わう。	A ・ B ・ C
	9	◎　落款と篆書 1　篆刻	1，篆書の学習（古典臨書） 2，篆刻（印を彫る）	篆書の学習を通して、落款が作品の中で重要であることに関心を深め、字典等を利用し工夫と表現が出来る。また、書作品の落款と自作、他作の印を比較し、意見交換できる。	書作品の落款が作品の中で重要であることに関心を深められたか。	いろいろな字典等を利用し、個性的な表現を工夫できたか。	印稿での表現と実際に運刀する段階での工夫と表現ができたか。	書作品の落款と自作、他作の印を比較し、意見を発表できたか。また、参考作品を鑑賞し、その美を味わうことができたか。	A ・ B ・ C

後期	10	◎　仮名の書 2「仮名の書」 【国語科との連携授業２】	1, 高野切第三種 （変体仮名と連綿） 2　寸松庵色紙 （散らし書き）	仮名の書を通して、用筆、運筆、字形のとり方に関心を示し、臨書に意欲的に取り組み、各古典の共通点と違いを理解し、それぞれの線質が表現できる。	各古典について理解し、用筆、運筆、字形のとり方に関心を示し、臨書に意欲的に取り組んだか。	各古典の書風の共通点と違いを理解し、用筆、運筆、字形等において、表現の工夫ができたか。	各古典の書風の共通点と違いを理解し、それぞれの線質が表現できるように努めたか	各古典を比較鑑賞して、美しさを感じ取ることができたか。	A ・ B ・ C
	11	◎漢字仮名交じりの書Ｂ 【国語科との連携授業３】 1　「表現」	1, 草稿づくり 2, 工夫を生かした書	漢字仮名交じりの書を通して、目的や用途に即した配列、書体など、芸術的な表現や実用的な表現ができる。また、鑑賞から書の良さや美しさを感じ取ることができる。	目的や用途に即した芸術的･実用的な表現について基礎的な事項を理解し、自ら表現活動を楽しんで表現を行おうとする。	目的や用途に即した形式と表し方を判断し、文字の大きさ、配列、書体など、それぞれに適した表現を工夫する。	芸術的な表現や実用的な表現をするために、形式や表し方を理解し、目的や用途に即して表現する技能を身につけている。	鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書の良さや美しさを感じ取る。	A ・ B ・ C
	12	◎「創作の書」	1, 手紙を書く 2, 感謝を文字で表現する	創作の手順に従って表現活動を楽しみ、創作構想に即した工夫や、用途に応じた表現ができ、表現方法について意見発表できる。	創作の手順に従って表現活動を楽しみ、意欲的に取り組んだか。また創作構想の構築のために創作参考作品に関心を向けていたか。	文字の大小･配置･書体の選択など、創作構想に即して工夫しているか。	芸術的な表現を理解し、用途に応じて表現できたか	多様な古典の造形美や時代が要求した書体の特徴などを深く理解し、書と文字と文化について幅広く考えることが出来る。	A ・ B ・ C
	1・2	◎「漢字の書」 1「隷書」 2「楷書・行書」	1, 曹全碑 1, 牛嶽造像記 ・ 書譜	楷書の書や行書の書を通して、漢字の書の良さや美しさを感じ取り、基礎的な技能を身につけ書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を理解する。	漢字の書を通して、書の美しさに関心をもち、意欲的･主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとする。	感性を働かせて漢字の書の良さや美しさを感じ取り、普遍性に裏打ちされた創造的な表現を工夫する。	漢字の書を通して、表現する能力を伸ばし、基礎的な技能を身につけている。	書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統などを理解し、表現と鑑賞の関連を図りながら、その良さや美しさを深く味わう。	A ・ B ・ C
	3	「生活の中の書」	1, 書体を選ぶ 2, カレンダーづくり	生活の中にある、様々な書の表現の工夫を生かし、用途に応じた自己表現ができ、書の持つ美しさを深く味わうことができる。	生活の中にある、さまざまな書に関心を示したか。	生活の中にある、さまざまな書の表現の工夫をしたか。	生活の中にある、さまざまな書において、用途に応じた自己表現ができたか。	生活の中にある、さまざまな書の持つ美しさを深く味わうことができたか。	A ・ B ・ C